

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	self-A もみじ
住所	広島市西区草津新町2丁目17番17号
電話番号	082-275-4910

事業所番号	3410214906
管理者名	森脇 崇
対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <ol style="list-style-type: none">活動場所 広島市西区草津本町6-3 有限会社 坂井屋実施日程 令和1年11月より、20~22回/月の実施実施した生産活動・施設外就労の概要 手造り練り物製品の製造業務、材料下処理、商品梱包、出荷準備業務、軽作業（商品シール貼り、梱包資材作成など）利用者数 8~12名/1日	<p><活動の様子></p>  <p>商品梱包作業</p>  <p>練り物製品の製造作業</p>  <p>材料下処理作業</p>
<p><目的></p> <p>地域の中で人手不足が顕著である老舗蒲鉾屋と連携を図ることで、</p> <ul style="list-style-type: none">・連携企業は人手不足の解消及び経費削減のメリットを実現する。・利用者にとっては地元名産「がんす」「草津かまぼこ」に携わることにより、地域社会に貢献している気持ちが芽生え、就労に向けた活力を感じる。・弊社としては、地場産業を通じて地域経済との結びつきを継続する。	
<p><成果></p> <p>作業工程がある程度決まっている環境での仕事をすることで、精神的な安定が図れ、出勤率が高く保たれたままで継続して利用できる方が増加した。「拘り」を障害としてとらえられていた方も、食品製造過程の中では、違和感に逸早く気付く能力として安心できる商品を作ることに一役かう事が出来ている。</p> <p>今後の課題としては、単一作業から複合的作業へと能力の向上を図りチームで仕事に取り組み、一人ひとりが協力しながら就労意欲の向上を目指す。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>継続して就労できている利用者の定着率が増加している。中でも若年層の利用者の勤労意欲は評価できる。個々の特性により特定作業に集中できる利用者、多重課題に挑戦できる利用者等、能力に差が生まれているがそれぞれに長所を生かして業務に当たっている。</p> <p>しかし、ニーズに対応できる利用者もすべてのわけではないことも現実である。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <p>仕事の質と量を高い水準で求めているので、そこを維持向上させるにはどうしたらよいかを双方の知恵を出し合って取り組んで行く必要がある。利用者の能力に合わせながらも、能力を引き上げる意識が双方に不可欠でその継続が連携強化に繋がっていくと考えられる。何事にも、「できません」から始まらず、「やってみよう」に挑戦して、成果をつかみ取ってほしい。</p>			
連携先企業名	有限会社 坂井屋	担当者名	高崎 明彦